

「戦争法廃止」のうねり広がる

伊那民報

題字
山口昭七氏

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「JCP上伊那」



宣伝、署名、集会活発に

戦争法成立後、政府内で、自衛隊は「どこにでも行って何でもできる」式の発言や動きが目立ってきています。これに対して、全国各地で「戦争法をなくそう」と宣伝や抗議行動などが広がっています。伊那でも多くの団体が、それぞれの立場からとりくみを強めています。

「ちあきを囲めー！」 青年の取り組み

11月22日（日）、共産党青年後援会主催で唐沢ちあきさんを囲む集いを開催しました。
日本共産党が提案している国民

連合政府の話唐沢さんが行った後、縦横無尽にみんなが聞きたいことや話したいことがたくさん出されました。現在の医療・介護現場、戦争法先日起こったパリでのテロ事件、ブラック企業に勤めている友達の話、活動をしていくうえで悩みなどなど話は多岐にわたりました。

唐沢ちあきさん 伊那を駆ける！



支持者と握手する唐沢さんと飯島市議（右）

23日午後、日本共産党の唐沢ちあき参院選挙区予定候補は東春近、西箕輪地域の党支持者らを訪問。戦争法廃止の署名と国民連合政府実現を呼びかけ、「しんぶん赤旗」の購読を訴えました。訪問先では「戦争だけはだめ」「戦争法は絶対廃止に」などと次々と署名に応じてくれ、握手などの激励がありました。「赤旗」読者が4人増え21人の署名がありました。この日の行動には、共産党の飯島・前沢・柳川市議が先頭に立ちました。

**2015上伊那
平和のつどい**
12月6日（日）
「憲法と民主主義が
生きる日本へ」
講師 **小森陽一**
九条の会事務局長
東大大学院教授
伊那文化会館大ホール
18:15開場 18:45開会

最後は、やっぱりみんなで闘って切り開くしかないでしょうと盛り上がっていました。

どの子も戦場に送らない！ 新日本婦人の会

12月6日の「上伊那平和のつどい」の成功のために「平和なら新婦人」と、伊那支部が行動。



来年から選挙権が18才以上になるので、高校生にも考えてほしいと、11月9・12・16日に伊那北駅前や創造館前、沢渡駅前で12の案内チラシを配布しました。下校途中の高校生らが次々チラシを受けとっていきました。

地蜂

アジアで二千万人の死者をだした太平洋戦争から七〇年にあたって、歴史を振り返り、現在を見つめ、未来を展望する

ことは国民にとって非常に大切なことだと思います。日常の暮らしや仕事に追われていても人間にはこのような歴史的・社会的思考の力が備わっています▼二万人に近い犠牲者を出した東日本大震災は、私たちの身近での体験をこえた言語に絶する苦痛でした。これらの自然災害に対する減災は切実な課題です。しかし七〇年前の犠牲者二千万人はまさに人災そのものです。あの戦争を終結させたのも人間の力でした。ポツダム宣言を全面的に受け入れることで戦争は終結しました。人類が戦争で苦しみ滅亡することのないよう世界平和と実現の道を推し進めること。そのためには国民が主権者となって、民意による政治を実現すること。ポツダム宣言を受け入れた日本が新憲法を制定し世界に向けて約束したことでした▼今、憲法も民意もふみにじって戦争を推し進める政治の暴走を許すまいと地域の中で世代・党派を超えた動きが高まっています。望郷の鐘 上映や戦争展 来る12月6日（日）伊那文化会館での「上伊那平和のつどい」も、そのような意義を持つ大切なものだと思います。力を合わせましょう。
(Y・K)

戦争法止める力、私たちから

戦争法案が9月19日に強行採決されて2ヶ月、九条の会などによって戦争法の廃止を求める行動や12月6日の「平和のつどい」の成功に向けての活動が積極的に取り組まれています。

東春近九条の会



毎月第1月

曜の朝7時15

分から竜東橋

たもとでスタ

ンディングを

計画。11月19

日は22名(東

春近で15名)

が駆けつけて

「戦争法廃止

で手をつなご

う!」の大看

板を掲げアピ

ルしました。

九条の会(ニュー

スは活動の紹

介と会員の交流なども掲載、22号に。

12月12日午後1時〜3時「九条の会

会員のつどい」の成功にも全力をあ

げています。

竜東九条の会



竜東では、「9条を守り、戦争法

の廃止を求
める竜東平
和のつどい」

が11月8日

中央区公民

館で行われ

22名が参加。

戦争経験者、

中国大陸か

らの引き揚

げ者、若者など7名が戦争や戦争法

に関する話をしました。「地元の人

の話が聞けてよかった」、「戦争は

絶対ダメ」との感想が寄せられました。

「会」は、総がかり行動実行委

員会が呼びかけた2000万人署名

や9の日のスタンディング、宣伝カー

の運行などの活動方針を確認し、市

民向けアピールを採択しました。

11月3日午後は、作家の澤地さん

らの呼びかけにこたえベルシャイン前

で「アベ政治を許さない」や「戦争

法へえやめらし」などの看板を掲げ

スタンディングに21名が参加。こ

の行動に、西箕輪、竜西、東春近、



平和のつどいで交流する竜東の人々

手良九条の会



高遠 医療生協の会員からも駆けつけました。交代でマイクを握り活動報告や戦争法の内容と戦争法の廃止を訴えていました。買い物客らが「がんばって」と手を振るなど激励が寄せられていました。

11月3日午後1時から1時間、中

坪公民館前で「アベ政治を許さない」

の看板を5名が掲げスタンディング

が行われました。

高遠町九条の会



11月15日(日)、「虹の市」で憲

法カフェを出し、九条グッズの販売

もしました。当日まで降り続いた雨

のため、高遠町勝間の「ほりでいド

ム」内での開催となりましたが、地

元以外の方も訪れ、憲法九条を守る

PRとなりました。

また、「会

では来年1月

24日(日)に

映画「戦場ぬ

止み」を上映

するために奮

闘を始めまし

た。(連絡先 大場保子 ☎94-3594)



虹の市に出店して会をPR

党東春近支部



11月1日と15日の午後、共産党事務所の宣伝カーで区内の街頭から「戦争法廃止」を呼びかけました。車中から手を振る人、クラクションをならすなどの激励が目立ちました。

原水禁世界大会の

報告集会開かる

10月30日、原水爆禁止世界大会報告集会が開かれました。大会に参加

した自分たち

が上伊那で何

をやっていく

のかをみんな

で考える機会

になりました。

今年の上伊

那から21名の

参加で、うち

4名が高校生

と若い人たち

の参加も多く、

今後の運動を

一緒に作って

いける手ごた

えを感じています。(有坂)



10/30 原水禁世界大会報告集会 (伊那市内)

太陽光発電 恫喝訴訟 画期的な判決で勝利!

弁護士 木嶋日出夫

去る10月28日、伊那の裁判所は、西春近細ヶ谷の太陽光発電計画に関して、片桐建設が土生田さんに訴えていた6千万円の損害賠償請求を棄却し、逆に、片桐建設は土生田さんに慰謝料50万円を支払えとの判決を言い渡しました。判決は、確定しました。

判決は、全国の多くの住民を励ます画期的なものです。また、この裁判中に伊那市がガイドラインをつくって開発業者に対する規制を始めたことも画期的です。

これらは、土生田さんと裁判闘争を支援した皆さんの粘



勝利を喜ぶ土生田さん(前列)と支援者のみなさん(長野地裁伊那支部の前で)

判決文の一部(望月裁判官)

「会社側の提訴は、裁判制度に照らして著しく正当性を欠く」

「住民が反対意見や質問を述べることは当然で、違法性はない」

お礼

土生田勝正

判決の確定で一年と八か月に渡る心の重しが取れました。恫喝訴訟をする企業と、それに加担する弁護士を許さない社会となり、こんな苦しい思いをするのは、私で最後になるよう願っています。

長い間のご支援、本当にありがとうございます。



窓 住居の貧困 前沢けい子

様々な悪条件が重なって、住居を失った人に対しての福祉施策が日本ほど貧困な国はない。

経済大国と言いながら、住居の格差に対してこれ程無関心でいられるのはなぜだろう。ヨーロッパ等では、衛生的で安心して眠ることができる、適度の広さの住宅の確保が福祉の最初に

据えられている。

伊那市では市営住宅に浴槽も給湯器もなく、きょうの食事にも事欠く人に対して、10万円を超える給湯機などを個人で準備せよと言う。そのような状況の人には対応できる緊急の融資もない。

一般質問等で取り上げ、改善を要望している。福祉の基本に住居を据え、良い眠りがあれば、心身を病むことなく次のステップに行けるのに。住居の貧困が医療費を増大させ生保の長期化を助長している。



上伊那平和のつどいにご参加を

建石繁明

私が、日本の現状と将来に、最も危惧の念を抱いているのは、「戦争法」成立後に動き出した「軍事依存経済」の活発化です。

防衛省は科学者との結びつきを着々と強めています。今年度からは、大学や企業から軍事技術のアイデアを公募する「安全保障技術研究推進制度」を始め、9件を採択しています。予算は1件当たり、最高年間3000万円(最長3年間)と言われています。具体的な対策として、10月には、防衛装備の調達・開発を一元管理する防衛装備庁を創設してしまいました。「軍事転用可能な技術が国内外にどのように存在するか把握することも、任務の一つだ。」と豪語して憚りません。

日本の科学界は、侵略戦争に科学者が加担した反省から、戦後、軍事研究と一線を画してきました。日本学術会議は、1950年、「戦争を目的とする科学の研究には、今後絶対に従わない」とする声明を発表しています。池内了さん(天文学者・名大名誉教授・九条科学者の会呼びかけ人)は、「科学者であればこそできる役割を果たして、公衆の福利に寄与する社会的責任がある」と語ります。

12月6日(日)、上伊那平和のつどいが、9条の会事務局(東京大学大学院教授)の小森陽一さんを迎えて、伊那文化会館大ホールで開催されます。リレートークには、常園寺の角田住職(駒大教授)も参加します。大勢の皆さんのご参加を期待しています。

俳句

熱き夏

長谷

中山

友悦

七十年平和を求む熱き夏

百舌鳥鳴きて見上げた空に残り柿

婿殿の薪割る音や冬近し

初雪やどこまで続くケモノ道

欠礼のはがきの多き歳の暮れ



催し案内

☆ 第24次東北被災地支援隊派遣

12月4日(金)～12月6日(日)
岩手県大槌町・釜石市
ボランティア参加者、支援募金、物資募集中
募金・物資は、お近くの党員にお渡し下さい。
連絡先 党上伊那地区委員会 (72-2465)

☆ マイナンバー制度学習会

12月5日(土) 18:00～
伊那市旧勤労者福祉センター2階大会議室
主催 上伊那民主商工会 (72-0550)

☆ 第2回健康づくり交流会

12月6日(日) 9:30～12:00
東春近ふれあい館(JA春富支所隣)
笑いヨガ体験できます。
参加費 300円(組合員) 500円(未組合員)
主催 医療生協健康づくり委員会
連絡先 組合員センター (79-8702)

☆ 2015上伊那平和のつどい

12月6日(日) 18:15開場 18:45開会
伊那文化会館大ホール
「憲法と民主主義が生きる日本へ」
講師 小森 陽一
九条の会事務局長・東大大学院教授
参加協力券 1000円
(障がい者800円、高校生以下無料)
主催: 2015上伊那平和のつどい実行委員会
事務局 馬場毅 (090-3558-5360)

風物詩

シクラメン栽培 (伊那市 境)



♪「うす紅色したシクラメンほどまぶしいものはない」
シクラメンは長野県が全国一の生産地。今、出荷の最盛期を迎えています。葉の数だけ花が付くと言われ、高温を避けて、花がら摘み、鉢回しなど上手に手入れすれば長持ちします。

☆ 『学習の友』学習会

12月11日(金) 午後7時～8時半
タウンステーション伊那まち
主催 上伊那学習協 (81-4371 竹村)

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター

12月4日: 東春近 11日: 富県 18日: 美篤
25日: 竜西・長谷 1月1日: 竜東・高遠
(医療生協担当支部)